



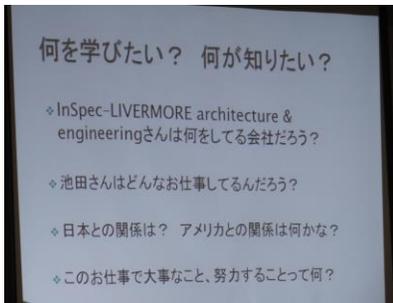
ポートランド日本人学校だより

2016. 7. 15

わかば

第16-14号

ホームページ <http://www.shokookai.org/gakkou.htm> 毎週火曜日更新



案内役加藤さんの説明



実習の解説



パスタとマシュマロで作製



楽しかった社会科見学!

6月21日(火)に社会科見学が6年生を対象に開催されました。当日は8時30分に商工会事務所会議室に集合し、今回の社会見学のお世話をしていただいた教育委員の加藤さんから社会見学の意義や会社についての説明の後、AAI (afghan associates. inc.) 社の池田様(以前INSPEC社勤務)に建築や構造に関するデザインの授業をしていただきました。

簡単な建築や構造の説明をしていただいた後に、スパゲッティとマシュマロを使用して3階建て程度の建物の骨組みを作り、台にのせて地震のようにゆらし、どの程度まで揺れに耐えられるか調べたり、どんな構造がゆれに強いかを調べたりしました。また、3Dプリンターでのプリントの実演も見せていただきました。さらには、3Dプリンターで作成したばね・歯車などを使用して動く車の作成もしました。

11時30分頃にはバスで公園に向かい、お昼の弁当を食べてしばし休憩し、次に味の素社を見学しました。味の素社では、塩島さんより会社の色々な説明を受けました。

「うま味」の発見を起点に1909年に創業し、現在世界に119の工場があり、27の国や地域で33295人の従業員が働いているそうです。ポートランドの工場では350人ほどの従業員が働いており、最近のご飯や麺の生産が伸びているそうです。

説明の後は、実際にギョウザを生産している工場内部を見学させてもらいました。とても清潔で機械化され、たくさんの製品が作られていく様子に、子どもたちは目を輝かせていました。説明には、メモを取り、疑問点は質問し、日頃できない学習に意欲的に取り組んでいました。

どちらの会社の方も、自社製品や自分の仕事に自信と誇りを持っており、とてもうれしそうに子どもたちに説明してくださる事が印象的でした。この姿から子どもたちはきっと自分の親もこのように楽しく仕事をしているのだろうと感じたことでしょう。

とても楽しい、かけがえのない体験、見学ができました。実施にご協力いただいた関係者の方々、商工会・教育委員会に大変感謝しています。

「AAI社」 小学部6年1組 紙透 唯

私達は、6月21日に社会科見学で、AAI社で働いている池田さんに来ていただき、実験とお話を聞きました。AAI社は、エンジニアが働いています。この会社のエンジニアは、主に建物をデザインする人達です。

私達は、どう柱を工夫すれば建物を地震から守れるかを、パスタとマシュマロを使ってグループごとに考えました。学んだことは、柱をたくさん重ねたり、柱をクロスすれば丈夫になるということです。地震から人を守るために、もっと色々な対策をしなければいけないということも学びました。

エンジニアという仕事は、いそがしくて大変です。ですが、人の安全を守ることも大切なエンジニアの仕事だなと思いました。

「社会科見学で体験したこと」 小学部6年1組 徳永 なつみ

私がAAI社について知ったことは、AAI社という会社は、エンジニアリングをしている会社ということです。そしてこの会社はエンジニアリングをして、人々を救っているということです。

学んだことは、家を建てる時には柱を太くするとより建物が丈夫になるということと、建物の上に重さをかけてしまうと大きくゆれてしまうので、下に重さかけた方がゆれにくくなるということです。

私が興味深く思ったことは、本物のビルや家はどのような構造になっているかということです。

実際に作って見たときに工夫したことは、柱を太くすることと、ブレイスをたくさんして、建物を丈夫にすることと、上に向かってピラミッドみたいにして、上を最小限に軽くすることです。

「味の素社」 小学部6年1組 下村 恒平

ぼくは味の素社で知ったことは2つあります。

1つ目は、味の素社ができたときのことです。味の素はうま味が発見されて1909年に始まりました。ずっと107年間、味の素は新しい商品を作っています。

2つ目は、この北アメリカに味の素の工場が8つもあることです。つい新しくポートランドにできた工場で、ヌードルを作る機械を造ったようです。日本から遠く離れたところに住んでいる私達が、日本食を食べられるように頑張っているのです。

ぼくは、今回味の素を見学してからすごく興味を持ちました。また味の素を見学し、色々くわしいことを知りたいです。



「味の素の工場に行つて」 小学部6年1組 高橋 優

私は、6月21日に味の素の工場見学をした。

私が説明を受けて知ったことは、1909年に味の素社ができたことだ。今から約100年も前になることが分かった。この会社は「うま味」の発見を起点にしていることも分かった。味の感覚は5つあって、「うま味」「甘味」「苦味」「酸味」「塩味」だ。その5つの中で、「うま味」が一番大切だということがわかった。

海外でもやっている理由は、日本は子どもの数が減ってきて従業員になる人があまりいなくて、マーケットが小さくなるから海外でもさがしていることがわかった。

私が興味深く思ったことは、1つの商品にたくさん検査などをしていて、とてもすごいなと思ったことだ。

お土産にギョウザをもらって帰って、木曜日の昼に家族でギョウザを食べた。味はこくなく、うすくもなくて、においも臭くないし、味もポン酢をつけてもつけなくても、とても美味しかったし、食感も歯応えがあって、美味しかった。

